

# ISHIKAWA DESIGN AWARD

## 令和3年度 石川デザイン賞

# 2021

令和3年度

### 石川デザイン賞 表彰実施要領

#### ■目的

石川県内のデザイン振興に大きく貢献した個人、団体、企業を評価、表彰することにより、県民へデザインの重要性を広くアピールするとともに、企業、団体へのデザイン導入の促進を図ることを目的とする。

#### ■表彰対象

これまで石川県のデザインの向上、普及に著しく貢献している個人及び企業、団体を対象とする。

#### ■表彰対象者の選考

- ①デザイン関係団体等の代表で構成する「石川デザイン賞選考委員会」において選考し、決定する。
- ②選考にあたっては、
  - ・デザイン界において顕著な活動を実践したもの
  - ・社会、教育に対してデザインのより一層の振興を図ったもの
  - ・デザインに対して深い理解を示し、商品開発や販売促進、さらには地域・社会・環境等の課題解決にデザインを効果的に活用したもののなどの観点から審査する。

#### ■表彰

石川デザイン賞 3件以内 ※賞状と副賞を授与する。  
表彰は、石川県知事と公益財団法人石川県デザインセンター理事長の連名による。

#### ■石川デザイン賞選考委員名簿

委員長	川本敦久	金沢卯辰山工芸工房館長
副委員長	村中 稔	金沢美術工芸大学教授
委員	鮎谷義博	(一社)石川県繊維協会専務理事
〃	飯尾 豊	石川県インテリアデザイン協会理事長
〃	川端淑愛	金沢市経済局クラフト政策推進課長
〃	木水 貢	石川県工業試験場繊維生活部長
〃	東田修一	石川県ビジュアルデザイン協会理事長
〃	長岡満寿夫	(一社)石川県建築士事務所協会理事
〃	西田哲次	金沢商工会議所常務理事
〃	松本いづみ	石川県クラフトデザイン協会理事長
〃	水上定洋	石川県商工労働部産業政策課長
〃	水野一郎	建築家・金沢工業大学教育支援機構顧問
〃	山本洋志	石川県プロダクトデザイン協会会長

#### 公益財団法人 石川県デザインセンター

石川県金沢市鞍月2丁目20番地 (〒920-8203)  
石川県地場産業振興センター新館4階  
TEL 076-267-0365 FAX 076-267-5242  
ホームページ <http://www.design-ishikawa.jp>

デザインのカ。  
人を動かし、  
時代を創る。

## ISHIKAWA DESIGN AWARD

### ◎ 受賞者の紹介



勝井 隆則  
かめなくや  
龜鳴屋



社会福祉法人 佛子園  
理事長 雄谷良成



株式会社  
山岸建築設計事務所  
代表取締役社長 山岸敬広

#### 受賞理由

金沢市で20年以上にわたって個人で版元を営む。自ら本の装丁・デザインを手がけ、その完成度の高さからファンも多い。書籍のデジタル化が進む中、本の手触りや凹凸感、文字組などにこだわり、活字文化の価値と魅力を装丁デザインを通して伝え発信している。

勝井隆則氏は、東京で20代を過ごし、Uターンして金沢の出版社に就職しました。4年間、雑誌の編集や本の出版に携わり、書籍のイロハを学び、30歳を過ぎてから同僚と出版社を立ち上げて独立。約10年間、実用書から翻訳書まで多くの出版物を手がけましたが、さまざまな制約がある仕事の中で、次第に思うに任せぬ本づくりが続くようになり、一から十まで自分の好きなように本をつくりたいと、本の制作を始めます。

インターネットが普及し始めたころの2000年、少部数、直接販売の個人版元「龜鳴屋」を開業しました。最初に売り出した本は、七尾出身の作家、藤澤清造氏の作品集でした。

龜鳴屋の本は、ちまたにあふれる本とは一線を画します。見た目ばかりでなく、判型や使う素材、施す加工は、本ごとに趣向を凝らします。紙の手触りのほか、本の開きの柔らかさも追求し、自然な仕上がりに心を配っています。それは、本という容器に、素材をどう盛り込めば、龜鳴屋の作品として作家の思いを最も届けられるのか、という答えに他なりません。

また、つげ義春氏や和田誠氏、高野文子氏など、著名なイラストレーターや漫画家が装丁したりするなど「龜鳴屋の作った本ならば」と内容を問わず買い求めるファンも少なくありません。

勝井氏は、これまで世の中に思いが届かなかった無名の作家を取り上げることが多く、その作家が生きた証を残すことが版元の役割だと言います。マーケットを意識せず、自身が納得のいくまで細部にこだわった龜鳴屋の本のたたずまいには、そんな思いが確かに表れています。



左：龜鳴屋の刊行物  
右：金沢の銀箔を表紙に使った『稚児殺し』特装版

#### DATA

1955年石川県羽咋市生まれ。早稲田大学第一文学部中退。2000年、金沢にて個人版元「龜鳴屋」をはじめ、宮崎孝政、藤澤清造、伊藤人誉、伊藤茂次、高祖保など、忘れられた作家や詩人の本、50余冊を刊行。

#### 受賞理由

世代の異なる人や、障がいのある人もない人も“ごちゃまぜ”で暮らせる街づくりを実践。金沢市若松町で「シェア金沢」を運営するほか、輪島市では中心市街地に点在する空き家・空き地を活用した施設の整備などで「輪島カプラー」を展開し、地域の活性化につなげている。

佛子園が掲げる“ごちゃまぜ”というコンセプトを説明する上で欠かせないのは、同法人が運営する「三草二木 西圓寺」(小松市)でのとあるエピソードです。西圓寺は高齢者や障がい者を対象とした福祉サービスを行っており、同施設を利用する認知症の高齢女性が積極的に重度心身障がいの男性のお世話をしていました。すると、認知症の症状が改善傾向を示したのです。さらに、西圓寺に入浴施設を併設していたことも手伝って、周辺人口も増加。福祉を中心とするさまざまな地域課題の解決策として、“ごちゃまぜ”が有用であることを雄谷理事長は確信しました。

こうした知見をもとに、規模を一気に広げたのが「シェア金沢」です。約1万1000坪の敷地に、サービス付き高齢者向け住宅や障がい児入所施設などとともに、学生向け住宅や天然温泉、飲食店、商業施設も設置して、かつての良き地域コミュニティを再生させることにより、多くの周辺住民が気軽に訪れています。また、2016年に法人本部と同時に全面オープンした「B's 行善寺」でも、“ごちゃまぜ”のコンセプトを大きく反映しました。

そして、2018年オープンの「輪島カプラー」では、輪島市中心部の空き家・空き地を活用し、高齢者や障がいの福祉施設などの整備に加え、食事処、ママカフェ、ゲストハウスといった地域交流の場を設けています。空洞化が課題となっていた市中心部のにぎわい創出や、障がい者などの就労の場づくりといった功績が認められ、2021年度のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰において、県内初となる最高賞の内閣総理大臣賞に選ばれました。

同園では現在、能登町の宇出津エリアでも“ごちゃまぜ”の新たなコミュニティ拠点の整備を計画し、地元から期待を寄せられています。



上：多くの利用客が訪れる「B's 行善寺」内の飲食店  
右：空き家を改装して生まれた「輪島カプラー」には地域の老若男女が集う



#### DATA

■ 代表者 雄谷良成  
■ 所在地 白山市北安田町548番地2  
■ 設立 1960年3月  
■ 従業員 900名  
■ 主な業務 介護・福祉施設運営

#### 受賞理由

地域に根ざした建築設計を3代にわたり継承し、近年は旧陸軍の施設を国立工芸館として再生するなど、本県の魅力づくりに建築設計を通じて貢献している。創業地の野々市市にも拠点を開設し、街並み景観づくりや建築文化の発信にも力を注いでいる。

戦後間もなく創業した山岸建築設計事務所は、校舎や庁舎といった公共建築物のほか、社屋や店舗などの民間建築物も数多く手掛け、親子3代で建築設計を通じた魅力ある地域づくりに貢献し続けています。

近年の代表作と言えるのが、金沢市出羽町で2020年10月にオープンした国立工芸館です。同社はこの仕事で翌年の第48回石川県デザイン展の県知事賞を受賞しました。

同館は明治後期の木造建築で、国の登録有形文化財である旧陸軍の第九師団司令部庁舎と金沢借行社を移築し、一体的に整備した施設です。もともとあった建物の半分ほどが昭和期に撤去されていましたが、古い写真や図面などを基に鉄筋コンクリート(RC)造で復元しました。これにより、耐震性・耐火性が向上したほか、工芸館として求められる厳密な温度・湿度管理も可能になりました。日本初の手法を用いて構造解析した上で、地震発生時に木造部分にかかる荷重をRC部分に負担させる設計も特筆すべきポイントと言えます。

地域コミュニティに根を下ろした取り組みにも注力しています。2016年に創業の地である野々市市本町に開設し、約10人が勤務する野々市アトリエ(写真上)もその一つ。図書館や文化ホール、小学校などが集積する「学びの杜ゾーン」の中心に位置することから、建築ギャラリーを併設するほか、駐車スペースを緑化してポケットパークとして開放し、週末には子どもたちの声が響き渡ります。

約8年前から会社を率いる山岸社長は石川県建築士事務所協会専務理事を務め、50歳以下の正会員が地域の未来を語り合う座談会を企画するなど、若手リーダーとして活躍しています。また、金沢工業大学で非常勤講師を務め、後進の育成にも尽力しています。



上：明治期に建てられた2棟の建物を一体的に整備した国立工芸館  
右：親子4代にわたって住み続ける母屋に隣接する山岸社長の自邸



#### DATA

■ 代表者 山岸敬広  
■ 所在地 金沢市中村町31-47  
■ 創業 1951年3月  
■ 従業員 42名 (山岸設備設計事務所含む)  
■ 主な業務 建築(設備)の設計・監理

### ◎ ご挨拶

デザインは、時代を切り開く新しい価値創造のプロセスとして、商品開発や広告はもとより、企業戦略や都市景観、イベント、地域活性化など多様な分野で、その力を発揮しています。

ますます創造性が必要とされる今日において、より一層社会に対して、デザインの浸透を図っていくことが重要であると考えます。

石川デザイン賞は、こうしたデザインの役割を広く県民各層にご理解いただくために、デザインの普及・発展やデザイン業界の活性化に著しく貢献した個人及び企業、団体を顕彰するものです。

選考に際しては、デザインに対する理解の深さ、リーダーシップ、社会への貢献度、商品開発や販売促進においてデザインを効果的に活用したものの、そしてデザイン業界において顕著な活動をしたものを対象としています。

令和3年度は、右記の3者が受賞しました。ご一読いただき、デザインの有効活用の一助になれば幸いです。

公益財団法人 石川県デザインセンター

理事長 **大場吉美**